

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査 (Heatstroke STUDY)

2. 研究の対象患者

2017年7月1日から2017年9月30日、2018年7月1日から2018年9月30日、2019年7月1日から2019年9月30日、2020年7月1日から2020年9月30日、2021年7月1日から2021年9月30日までに当院救急救命科、救命救急センターで熱中症と診断された入院患者さん

3. 研究の対象期間

2017年7月1日～2017年9月30日
2018年7月1日～2018年9月30日
2019年7月1日～2019年9月30日
2020年7月1日～2020年9月30日
2021年7月1日～2021年9月30日

4. 研究の概要

夏季になると熱中症の重症患者に関する報道が多くみられる。しかしながら、本邦における重症熱中症の実態については、ほとんど解明されていないのが現状である。日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会は2006年から熱中症の実態に関する全国調査が行い、重症者の多くが日常生活の高齢者であることを明らかにしてきた。今後は、その病態や治療方法について、より具体的な対策を講じていかなければならない。

本研究は、重症熱中症の全国規模の実態調査であり、先の調査を基に調査項目を設定して、原因や病態の解明および治療や予後の実情を把握し、発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討することを目的に行うものである。

5. 研究実施予定期間

2020年7月22日～2022年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見（身体所見・検査所見など）、発生原因、治療法および転帰

7. 外部への試料・情報の提供

診療録から取得された情報は、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会の指定した業者の作成したホームページからWeb登録して収集する。個人情報の保護のため、氏名・住所・生年月日・電話番号等の個人を識別できる情報については登録されない。

8. 研究組織

帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会、日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究への協力が得られた救急医療施設

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：救急救命科 伊藤史生

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

帝京大学医学部 救急医学講座 助手 神田潤

電話：03-3964-3023